ENABLING DISCOVERY | POWERING EDUCATION | SHAPING WORKFORCES

東北大学・東京工業大学・総合研究大学院大学・東京理科大学に所属する論文著者が利用できるオープンアクセス契約

Wileyのジャーナルで論文をオープンアクセス(OA)出版しましょう

4大学 に所属する論文著者が、コレスポンディング・オーサーとしてWileyのハイブリッド誌(収録論文の閲覧のために購読契約を要するジャーナルのうち、著者が論文出版料金(APC)を支払って自分の論文をOA化するオプションを提供するもの)で論文を出版する場合、OA申請を行って所属機関から承認を受けることで、OA出版のために必要なAPCの自己負担が免除(または軽減 *)されます。(* 各機関の規定によります)

自分の論文をOAで出版することにより、読者や引用・共有回数の増加が期待できます。

論文をOA出版するメリットについては、こちらをご覧ください。

- ホワイトペーパー -
Wileyのデータで見るオープンアクセス(OA) 論文出版の利点
- オープンアクセス (OA) を選ぶ利点とは?

論文をOA出版することにより

- 研究助成団体や所属機関が定めるOAポリシーに準拠できます
- 著者が著作権を保持し、CCライセンスにより公開できます

ENABLING DISCOVERY | POWERING EDUCATION | SHAPING WORKFORCES

OA契約の利用資格

- 論文がアクセプトされた時点で、その論文の Responsible corresponding author が、WileyとOA契約を結んだ4大学のひとつ に所属している必要があります。[1]
- 対象となる論文の種類は、原著論文またはレビュー（総説）です。[2]
- 論文がWileyのハイブリッド誌でアクセプトされたら、下の「OA出版のための手続き」を参照して、必要な申請手続きを行ってください。[3]
- 2022年4月1日以降にアクセプトされた論文が対象です。

OA出版のための手続き

- How to publish in a hybrid open access journal (English)
- オープンアクセス出版手続きガイド（日本語）

自分の論文をOAで出版するための申請を行うには、
Wiley Author Services Dashboard で必要な手続きを行います。

問い合わせ

ご不明の点は、所属機関の図書館までお問い合わせ下さい。

[1] 論文がアクセプトされた時点で対象の4大学に所属していない場合は、OA契約を利用できません。

[2] これらに含まれないLetter, Editorialなどは対象外となります。

[3] 論文著者がOA出版のための手続きを行わなかった場合は、非OAの論文として出版されます。OA出版のための申請手続きを行えるのは、論文がオンライン出版（先行公開 Early Viewを含む）される時点までで、出版済みの論文について事後的にOA申請することはできません。